

報道資料

令和2年4月10日(金)

福祉医療部 医療政策局 疾病対策課 担当:戸毛・池田

報道専用電話:0742-27-8612(ダイヤルイン)

内線:3130,3136

一般相談電話:0742-27-8561

総務部知事公室 防災統括室 担当:中西・北畑

電話:0742-27-7006(ダイヤルイン)

内線 2270, 2302

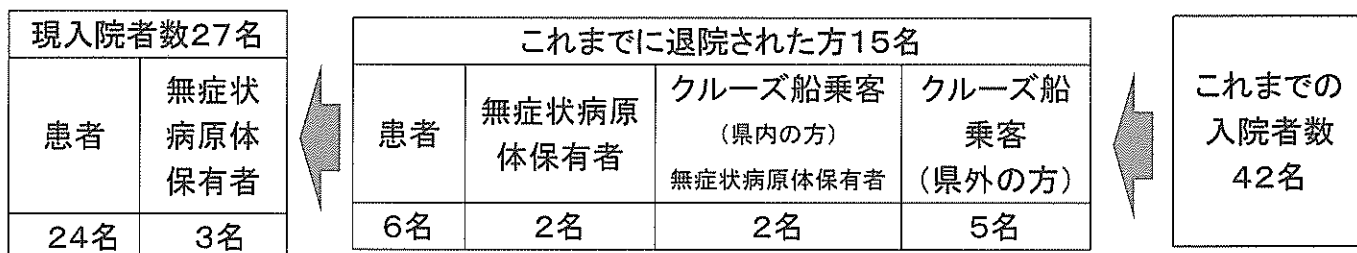
新型コロナウイルス感染者・患者の発生について

奈良県において新型コロナウイルス感染症の感染者(県内感染者35、36、37例目、患者28、29、30例目)が発生しました。現在、濃厚接触者の把握を含めた積極的な疫学調査を確実に行ってまいります。

感染者……PCR検査の結果が「陽性」の方

患者……PCR検査の結果が「陽性」で、かつ、症状のある方

1) 入院者数の状況



2) 感染者(患者)の概要

感染者35例目(患者28例目)					
年代・性別	60代・女性	採取日 結果判明日	4月7日 4月10日	感染経路	調査中
居住地	橿原市	入院日	4月10日	濃厚接触者	家族4名
職業	無職	現在の状態	軽症	特記事項 (発症後の行動等)	4月1日以降外出せず 4月3日近医受診
発症日 症状	4月1日 咳・痰		下痢、むかつき、味覚・嗅覚異常、咳、痰、倦怠感、頭痛		

感染者36例目(患者29例目)					
年代・性別	60代・男性	採取日 結果判明日	4月8日 4月10日	感染経路	職場(大阪市内) 同僚に陽性者あり
居住地	橿原市	入院日	4月10日	濃厚接触者	家族2名 他調査中
職業	会社員 (金融業)	現在の状態	軽症	特記事項 (発症後の行動等)	4月6日近医受診 上記以外外出せず
発症日 症状	4月4日 咳		発熱		

○県内感染者37例目(患者30例目)

詳細は別添の奈良市報道資料参照

今後とも、迅速で正確な情報提供に情報提供につとめますが、感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、患者及びご家族等の個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、施設等への取材はご遠慮いただきますようお願いいたします。

3) 県の対応

- 新型コロナウイルス感染症については、県のホームページに最新情報を掲載しています。
- 新型コロナウイルス感染症を疑う方への相談窓口として、「帰国者・接触者相談センター」を設置しています。海外から帰国された等の方で何らかの症状がある方はご相談下さい。

■ 帰国者・接触者相談センター(新型コロナ受診相談窓口)

相談窓口	電話番号	FAX番号	対応時間
奈良県庁	0742-27-1132	0742-22-5510	平日 8:30~21:00 土・日・祝 10:00~16:00

新型コロナウイルス感染症を疑う要件」に該当される方(※1)は、夜間でも保健所での電話対応が可能です。

※1 「新型コロナウイルス感染症を疑う要件」とは次のア～エのいずれかです。(現時点での定義であり、今後変更する可能性があります。)

	症状	接触歴など
ア	発熱(37.5℃以上)または呼吸器症状	発症前 14 日以内に新型コロナウイルス感染症患者と濃厚接触した
イ	発熱(37.5℃以上)かつ呼吸器症状(肺炎を疑わせる)	発症前 14 日以内に海外渡航歴(特に流行地※2)がある
ウ	発熱(37.5℃以上)かつ呼吸器症状(肺炎を疑わせる)	発症前 14 日以内に海外渡航歴(特に流行地※2)のある者と濃厚接触した
エ	渡航歴に関わらず、37.5℃以上の発熱かつ原因不明の肺炎	

※2 流行地は以下のとおりです。

アイスランド、アイルランド、アルバニア、アルメニア、アンドラ、イスラエル、イタリア、イラン、インドネシア、英国、エクアドル、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、北マケドニア、キプロス、ギリシャ、クロアチア、コソボ、コンゴ民主共和国、コートジボワール、サンマリノ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、タイ、台湾、チェコ、中国(香港及びマカオを含む。)、チリ、ドイツ、ドミニカ国、トルコ、デンマーク、ニュージーランド、ノルウェー、バチカン、パナマ、ハンガリー、バーレーン、フィリピン、フィンランド、フランス、ブラジル、ブルガリア、ブルネイ、米国、ベトナム、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボリビア、ポルトガル、ポーランド、マルタ、マレーシア、モナコ、モルドバ、モロッコ、モンテネグロ、モーリシャス、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク及びルーマニア

県民の皆様

【新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために】

- ・換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
- ・風通しの悪い空間や人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、イベントを開催する方々は、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、風通しの悪い空間をなるべく作らない、会場の入り口にアルコール消毒液を設置するなど、イベントの実施方法を工夫してください。
- ・多くの方が集まるイベントや行事等に参加される場合は、お一人お一人が咳エチケットやこまめな手洗いなどの実施を心がけてください。

報道資料

令和2年4月10日（金）
奈良市健康医療部保健所
保健予防課 奥村 永松
電話：0742-93-8397

新型コロナウイルス感染症患者の発生について

本日、市内において7例目の新型コロナウイルス感染症患者を確認いたしました。これで、奈良市内の感染者は10人となります。

1. 患者の概要について

市内感染者10例目(患者7例目)					
年代・性別	90代・男性	採取日	4月8日	感染経路	調査中
		結果判明日	4月10日		
居住地	奈良市	入院日	4月8日	濃厚接触者	家族1名
職業	無職		中等症		発症以来、医療機関以外の外出はしていない
発症日	4月3日	現在の状況	発熱 肺炎	特記事項	(マスク着用)

	感染者(うち、無症状病原体保有者)	患者
奈良県内	37例目(7)	30例目
奈良市内	10例目(3)	7例目

市民の皆様へ

- 手洗いや咳エチケットなどを励行し①換気の悪い「密閉空間」②多数が集まる「密集場所」③間近で会話や発声をする「密接場面」の3条件を避け、感染の拡大防止にご協力くださいますようお願いいたします。
- 大阪など都市部への不要不急の往来を自粛くださいますようお願いいたします。